

透明性からみたアクリル絵具

一概にアクリル絵具といっても、多くの種類が市販されています。ホルベインでもアクリラ、アクリラ、ガッシュ、エアロフラッシュ、カラージェツソ、アクリルマット(粗粒子マットタイプ)、アクリルペイントという6種類のアクリル絵具を揃えています。それぞれどう違うのでしょうか。透明性という視点から特色を整理してみました。

■アクリラとアクリラ ガッシュ

アクリラとアクリラ ガッシュはアクリル絵具を代表する絵具です。いずれも顔料とアクリルエマルション(アクリル樹脂が細かい粒子の形で水中に分散した、乳液のような糊)とを組み合わせたものですが、乾燥後の塗膜中の顔料と樹脂の比率が大きく異なり、顔料/樹脂1/2〜3の前者に対し、後者はそれがほぼ2/1と逆転しています。絵具の透明と不透明について以前に述べましたが、同じ画面に塗ると、顔料比率が高く、光を表面で反射して透過させないアクリラガッシュの方が不透明な画面になります。アクリラは下の色が透ける透明性のある画面をつくり、アクリラ ガッシュは下の色を覆い隠す不透明色のアクリル絵具といえます。最初にあげた6種類のアクリル絵具はアクリラのように透明性のあるタイプと、アクリラ ガッシュのように不透明色に属するものに分けることができます。前者にはエアロフラッシュとアクリルペイント、後者にはカラージェツソとアクリルマットが入ります。

■透明タイプのアクリル絵具 — エアロフラッシュとアクリルペイント

エアロフラッシュはエアブラシ用につくられた液状のアクリル絵具、アクリルペイントは刷毛やローラーで広い面積を一気に塗れるように、粘度を低くしたアクリル絵具です。従来のアクリル絵具を水で薄めてもエアブラシに使えますが、噴霧したとき細かい霧状になりにくかったり、沈殿がおきやすいなど欠点がありました。その欠点を解消したのがエアロフラッシュです。また、アクリルペイントは塗料のような流動性を持たせた安価なアクリル絵具です。オベーク色と白、黒、グレイを除くエアロフラッシュやアクリルペイントはつやと透明性のあるアクリル絵具ですから、透明な層を積み重ねて奥行きのある画面が

くれます。

■不透明タイプのアクリル絵具 — カラージェツソとアクリルマット

ジェツソはもともと下塗り用につくられたアクリル絵具です。最初は白一色でしたが、ホルベインでは多彩な色を揃えたカラージェツソ(21色)を発売しています。特色はアクリラ ガッシュより粗い粒子の顔料を使い、上に塗る絵具のくいつきを良くしていること、刷毛などで広い面積を塗りやすいよう低粘度に仕上げられていることです。アクリルマットはカラージェツソ同様の粗めの粒子を使い、さらに描画に向くように粘度を高くしたアクリル絵具です。いずれも塗り重ねることでの色を覆い隠すことができるつや消しの不透明色なので、アクリラガッシュと同じような使い方もできます。

■広がる表現の幅

「なぜ、ホルベインはこんなにたくさん種類のアクリル絵具をつくったのか」と聞かれることがあります。アクリラとアクリラ ガッシュ、ジェツソがあれば、アクリル絵具による表現は可能です。しかし、今まで下地用だったジェツソの粗さを積極的に絵具として使うアーティストが現れ、大画面に、大胆に描ける手軽なアクリル絵具が欲しい」といったニーズがあれば、それに応えるのが絵具メーカーの使命です。また、アクリラとアクリラ ガッシュを使ったことがある人なら、透明・不透明という差だけでなく、前者は厚塗りしてもひび割れない丈夫な画面になり、後者は厚塗りに向かないかわりに均一でフラットな色面ができるという、個々の絵具の特色を体験的に知ってほしいです。誌面ですべてを紹介することはできませんが、同じアクリル絵具でありながら6種類の絵具はそれぞれ独自の特色を持っています。それらを引き出すことで、アクリル絵具による表現はさらに豊かになるのではないのでしょうか。



アクリルペイント 700ml 全12色

ホルベイン絵具に関する
ご質問・ご相談は…

ホルベイン絵具 技術サービスセンター TEL.072 (985) 1223
〒579-8063 東大阪市横小路町4-10-52
電話受付時間/9:00~16:00 月~金曜日(祝日を除く)



ホルベイン絵具